

## 【韓国—商業】

## 元Jリーガー、ミズノ製靴を障害者に贈呈

韓国のプロサッカーの李根鎬（イ・グノ）選手は2日、ソウルで視覚障害者中心の5人制サッカー（ブラインドサッカー）の選手らに、日本のスポーツ用品大手ミズノのシューズ計77足を贈呈した。金額にすると、800万ウォン（約79万円）相当となる。

Jリーグのジュビロ磐田やガンバ大阪で活躍した李選手は現在、韓国Kリーグの江原に所属しており、ミズノの韓国法人、韓国ミズノとスポンサー契約を結んでいる。贈呈したシューズはブラインドサッカーへの関心を高めたいと自ら購入した。

贈呈式を企画したのは、映像制作会社 Absolute Design の足利成司社長。同氏は2年前からブラインドサッカーの認知度向上に向けた活動を展開している。足利社長から相談を受けた韓国ミズノがボランティア活動に熱心な李選手にシューズの寄贈を依頼したところ、李選手は快く承諾したという。

アジアでは韓国が最初にブラインドサッカーを導入したものの、韓国国内では認知度が低く、活動資金が集ま

りにくい状況が続いている。



左から2番目が李根鎬選手。右端が韓国ミズノの小西宏昌社長、左端が同社の田中鉄也・事業統括部長=2日、ソウル（NNA撮影）

## 【韓国—IT】

## LGCNSとアマゾン、クラウド事業で提携

韓国LGグループのシステム会社、LGCNSは2日、パブリッククラウド最大手の米アマゾンウェブサービス（AWS）の韓国法人と業務提携を結んだと発表した。クラウドサービス事業を強化し、市場攻略に乗り出す。

LGCNSは、コンサルティングのほか、企画・設

計・構築・運用などクラウドサービス全般にわたって支援を受ける。まずは、政府系企業や民間企業を対象にマーケティング活動を強化し、売り上げ拡大につなげる考え。

両社はほかにも、人工知能（AI）やビッグデータ分野での協力関係も強化する。

## 【韓国—IT】 《日系進出》

## ベスパが韓国進出、飲食店予約システムで

飲食店向け予約顧客管理システムを手掛けるベスパは、韓国市場に進出する。3日、韓国の米ヒルトン系列のホテルに同社システム「テーブルソリューション」を提供したと発表した。予約管理、来店回数、お好みのメニューなど顧客に関する情報を一括管理できる。向こう2年間で50軒への導入を目指し、海外展開に弾みをつける。



韓国の高級ホテルで導入が進む「テーブルソリューション」（ベスパ提供）

ヒルトン系列の「コンラッド・ソウル」が今月からベスパのシステムの利用を開始した。ベスパの広報担

当社は NNA に対し、「現地の『グランドハイアット』や『パークハイアット』など計 5 軒のホテルにも導入された」と話した。

システムの利用額は 30 席以下のレストランで月額 1 万 2,000 円、31~100 席で 1 万 5,000 円、101 席以上で 2 万円だ。オンライン決済やグルメサイト予約の自動取り込みなどにも対応する。今後は、韓国の IT (情報技

術) 大手ネイバーなど韓国の飲食店予約サイトとも協力していく方針だ。

ベスパは、7 月下旬をめどに販売拠点を韓国に開設する。場所はソウルを中心に検討中で、すでに現地スタッフを採用した。今後はこれらスタッフを活用して販路の拡大を進める方針だ。韓国進出を機に、タイやベトナムなど東南アジア地域での導入も加速する。

## 【韓国—IT】

### 「カカオキッズ」、日本語配信開始

韓国 IT 大手のカカオの子ども向けコンテンツ「カカオキッズ」が 2018 年上期にも日本語版アプリケーション (アプリ) の配信を開始する。3 日付電子新聞が伝えた。

カカオの子会社であるブルーフィンが 2 日発表した。カカオキッズは童謡や童話、言語学習など、教育と遊び

のコンテンツを提供する。現在は韓国語をはじめ英語、中国語版で配信。累計 3,000 万ダウンロードを突破した。

日本での配信を機に、コンテンツ量も現在の 2 万から約 5 倍に増やしていく考えだ。

## 【韓国—IT】

### 7 年ぶりに社員数が減少、サムスン電子

サムスン電子の全世界の社員数が 7 年ぶりに減少した。国内の減少分のほとんどは、複合機事業の米 HP への売却によるものだ。

同社が発刊した報告書によると、2016 年末の社員数は 80 カ国で計 30 万 8,745 人と、1 年前と比べて 5.2% 減った。韓国国内は 9 万 3,204 人と、3.8% 減った。

海外は 5.8% 減の 21 万 5,541 人だった。中国や中南米での減少が目立った。ただ、現地法人が人員削減を行っ

たわけではないという。社員が辞めても、生産調整の観点から人員を補充しなかったもよう。

同社はまた昨年、韓国政府に 8 兆 9,000 億ウォン (約 8,800 億円) の税金を納めた。前年より 1 兆 1,000 億ウォン増えた。全世界で収めた税金の 67% を占める。

配当金も 3 兆 9,920 億ウォンと 30.1% 増加した。配当性向は 1.4 ポイント上昇の 17.9% だった。

## 【韓国—金融】

### 社債投資に関心高く、上期の発行額 40% 増

韓国企業が上期の社債発行で、当初の計画を 40% ほど上回る資金を調達したことが分かった。昨年は公募社債を発行しても計画する資金を十分調達できない企業が多かった。しかし今年は機関投資家の投資需要が拡大しており、多数の企業が発行額を増やした。

3 日付韓国経済新聞によると、1~6 月の社債需要は 46 兆 5,000 億ウォン (約 4 兆 5,600 億円) と、2012 年に需要予測の仕組みができて以来、半期ベースで最大を記録した。市場の金利が昨年より高く安定していることから、投資家が社債投資に積極的な姿勢を示している。

これを受け、実際に企業が上期に発行した社債は 21 兆 2,000 億ウォンと、当初の計画から 39.6% 増えた。

また、韓国総合株価指数 (KOSPI) が初めて 7 カ月連続で上昇するなど株式市場が活況を呈しており、新規株式公開 (IPO) 市場の熱気も高まっている。半導体とディスプレイ製造装置業を中心に、11 年以降の上期では最多の 21 社が上場。IPO で集めた資金も 4 兆 8,000 億ウォンと、上期としては 6 年ぶりの高水準となった。

## 【韓国—金融】

### 会計士の 36%、本業以外の会社に就職

聯合ニュースによると、公認会計士 1 万 9,335 人 (5 月末時点) のうち 36.3% の会計士が本業以外の仕事をしていることが分かった。会計士資格保持者の急増を背景

に、業務量の多い会計法人より大手企業への就職が増えている。

本業以外で仕事をする会計士資格保持者は 2006 年末